**平成２４年３月定例会**
**３月１５日 一般質問質疑応答状況**

| 質 問 者 | 質問事項・内容 | 答 弁 者 | 答弁内容（検討事項） | 検討・対処結果 |
|---|---|---|---|---|
| 飯田議員 | **今後の町政運営について**<br>*◎２月９日中国新聞、２月２４日山陰中央新報で報道された新町長の行政運営の方針についてお伺いする。*<br><br>①「集落対応」について<br>・集落毎に意見交換会でニーズを聞く。<br>　いつ頃からどういう形態でどれくらいの期間をかけ、聞かれたニーズをどのように施策に反映されていくのか？ | 三宅町長 | ・定住コーディネーターを配置し、定住促進を進めている。また、集落支援員や地域おこし協力隊を導入して、新たな集落対策を考えている。<br>　今後の集落機能維持に不安を感じ、様々な機会を通じて住民と意見交換を行い、地域にあった集落対策に取り組む。なお、４月中旬から下旬にかけて町内６ヶ所程度で意見交換会の場を設けたいと考えている。 | |
| | ②「高齢者福祉」について<br>・中高年者の Ｕ・Ｉターンを促す。グループホームを増やす。<br>Ｕ・Ｉターン者の住居・職場はどう確保されるか？<br>グループホームの増設は、第５期は邑智郡総合事務組合構成町の計画では新施設の建設はしないとあるが？また、地域で高齢者の見守り活動はどのように進めるか？ | 三宅町長 | ・第５期邑智郡介護保険事業計画が正式決定された。この計画の中で、邑智郡３町の合意として、新たな介護施設等は整備しない事となっている。従って就任前の２月９日の時点では、このような状況を正確に把握しておらず、結果的に住民に誤解を与えることとなり、申し訳なく思っている。<br>　今後は、小規模多機能型居宅介護施設の開設により、２４時間対応のサービスを提供することができる。また、地域での高齢者の見守りとしては自治会、民生委員による見守り、あるいは、地域包括支援センターを中心として、見守り機能の強化を図っていきたい。 | |
| | ③「農業振興」について<br>・「６次産業化」を進めればどの時点で農家の所得が向上するのか？私は、農業生産法人、集落営農の推進、体力強化が先決だと考えるが町長、担当課長のお考えは？ | 三宅町長 | ・地域農業の発展と農業生産の維持向上を図るためには、集落営農組織や担い手の育成により、効率化と低コスト生産を重視した経営強化を図ることが重要である。そのためには集落営農組織の育成・強化を図ることが求められる。また、農業所得の向上を図るためには、この収益の増、これが６次産業化、費用の減、これが生産法人の強化であり今後取り組んでいきたい。 | |

| 質 問 者 | 質問事項・内容 | 答　弁　者 | 答弁内容（検討事項） | 検討・対処結果 |
|---|---|---|---|---|
| 瀬尻議員 | **「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について問う**<br>・平成２４年４月１日より施行される「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が定着できるような施策・方針を掲げていくことが必要ではないか。 | 木村健康福祉課長 | ・このサービスは、今後、高齢者人口が増加し、利用者や介護スタッフが確保しやすい都市部を想定して創設されたものであり、人口減少している川本町においては、採算性やマンパワー確保の上で大きな壁があると認識している。訪問介護については、２４時間利用できるが、現在のところ郡内では利用者はない。<br>　今後、利用者のニーズ等を把握し、介護保険課、介護保険事業所とも協議しながら、検討したい。 | |
| | **人の育成について問う**<br>・将来の町長・副町長の育成について、町長の考え方を問う。 | 三宅町長 | ・町民の皆様の信頼に応えられる職員を育成するために経験と能力、客観的な視点を育てていくようなことも考えていく。こうした中で、副町長の職責を担う人材が自ずと育ってくれることを期待している。 | |
| 圓山議員 | **小規模発電事業について尋ねる**<br>・町長の施政方針の中から、「耕作放棄地」の解消・「有害鳥獣対策」「木質バイオマス」・「有機農業」「地域通過」なる表現はあるが、いま話題のエネルギー問題をこうした事業の中で考える気はないのか尋ねる。 | 森口住民課長 | ・川本町の取り組みとしては、役場庁舎や道の駅に太陽光発電施設を設置している。また、本年４月から湯谷温泉弥山荘では重油ボイラーから木質バイオマスボイラーへ切り替えて営業する予定である。なお、現在策定中の第５次総合計画の中で何らかの形で再生可能エネルギー利用促進策を位置づけたい。 | |
| | **有機農法を取り組む中で、有機肥料の作成に助成を**<br>・農業・林業から発生する資源を有機肥料にすることで有機農法の実行につながると思う。<br>　そうした中、その生産に手助けをすることも大いに意義があると感じるがどう思われるか？ | 森川産業振興課長 | ・農業・林業がら発生する資源を活用した有機堆肥化の助成を行う前に、本町においては有機農業に取り組む農業者を増やしていくことが先決である。また、島根県においては有機農業への取り組みに対して、総合的な支援を行う助成事業を推し進めており、川本町農業公社でも「エコファーマー」認定や「環境を守る農業宣言」の認定に取り組み、販売を目的に有機堆肥を使用した農業者に対し、有機堆肥購入の一部を助成している。これらの事業を活用していただきたい。<br>　また、景観対策や道路の陰伐りにより発生する不用樹木等を粉砕する機械の購入助成等については、関係する機関や部署との協議が必要で | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | あり、十分な検討を要する。 | |
| 青木議員 | **施政方針について**<br>・施政方針に具体性がない。まちづくりの基本的な方向性についてもう少し具体的に述べて欲しい。<br><br>**特別職報酬等審議会の答申の見送りの扱いについて**<br>・この審議会の見送りについては、審議会の皆さんが会議を重ねられ出された答申です。この見送りについての説明を願いたい。 | 三宅町長<br><br>三宅町長 | ・川本町の現状をプラス思考で考え、職員と一緒に知恵を出し、夢を持ち、等身大の実現可能な分かりやすい戦略を明確に打ち出して、それをみんなが共有化して共に汗を流して安心して暮らせる川本町を目指して生きたいと考えている。<br><br>・町長６０万円、副町長５４万円、教育長４８万円、平成２４年４月１日実施という答申があった。しかし、この答申の給料月額は現在受給している金額を上回り、一方で一般職員の給料カットは平成２５年３月３１日まで継続していることを考慮して、平成２５年４月１日から実施したいと考える。 | |